

流星[®]

エア一粒剤

散布マニュアル



地上部だけでなく
地下部も…

※アルテアはメタソルフロンの変称です。
アルテア[®]と流星[®]は日産化学(株)の登録商標 [®]は登録商標



400g入 (10アール用)



2kg入 (50アール用)

水稲用一発処理除草剤「流星」から、 ドローンで撒ける「エア一粒剤」が登場!

多年生雑草の地上部だけでなく、地下部も抑える、除草成分「アルテア」を最大量#10g配合。
しかも、悩ましいノビエの後発生と厄介なSU抵抗性雑草、そのどちらに対しても除草力を強化しました。
もっと根に強く! パワーアップした「アルテア」剤、流星。あなたの水田の雑草防除に、ぜひお役立てください。

#「一発剤としての最大薬量」の意味です。



400g入 (10アール用)



2kg入 (50アール用)

登録番号：第24480号
有効成分：フェンキナトリオン…… 7.5%
 ベントキサゾン…… 6.25%
 メタゾスルフロン…… 2.5%
容 量：400g、2kg

水稲用一発処理除草剤

流星[®] エア一粒剤

もっと、根、に強く! パワーアップした「アルテア」剤!

- 除草成分「アルテア」を最大量10g#配合。多年生雑草への効果をより強化しました。
- ノビエへの効果持続性、SU抵抗性雑草への効果も強化しています。
- 直播水稲にも使えます。
- ドローン散布に適した自己拡散型の製剤です。

・幅30mまでは圃場の中央に散布するだけで拡がるので作業時間を短縮できます。
・ラフに撒いても拡がるので飛行ルートを気にする必要ありません。



地上部だけでなく
地下部も…

ドローンによる散布法

● 圃場周辺への飛散防止と薬剤を十分拡散させるために、以下の条件を守って散布してください。

〈散布条件〉

飛行高度：2～3m
風速：3m/秒以下
畦畔からの距離：10m以上
水深：5cm以上

〈散布幅〉

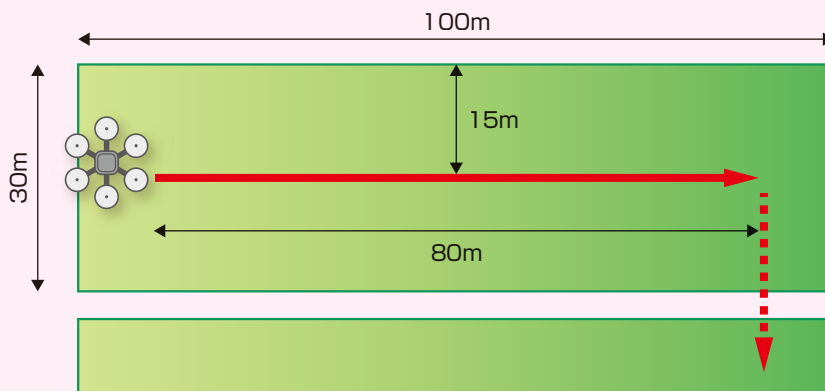
30m以下*
(片側15mまで拡散します)

*藻、浮草、表層剥離が発生している場合は適宜、散布幅を狭めてください。

● 推奨散布方法

機体	散布装置	飛行速度	インペラ回転数	開度(ポリウム)	吐出時間秒/10a	散布距離m/10a	散布幅	30×100m圃場の飛行ルート
AGRAS T10 AGRAS T25 AGRAS T30	GS110(T) GS440(T)	15km/時	600rpm	23.4%	6.4	26.7	30m以下 (片側15m以下)	圃場中央 片道1回(80m)
MG-1 MG-1K T20 T20K	GS110 GS110K GS220 GS220K			44.5%	19.2	80		圃場中央 1.5往復 (240m)
AC101connect AC102	AC101 P13		遅	55%	12.8	53.3		圃場中央 1往復(160m)
YMR-08 YMR-II	GR1-10 丸形ローラー GR1-10 ひし形ローラー		固定	100	31.0	129		圃場中央 2往復+67m (387m)
				60	19.2	80		圃場中央 1.5往復(240m)

● 飛行ルートの例 例)30aの圃場(30×100m)を中央片道散布する場合



薬剤は15mまで拡散しますので、幅30mの圃場であれば中央片道散布が可能です。1往復以上の飛行で散布する場合は中央散布以外でも問題はありませんので、隣接田を続けて散布する場合などは適宜散布幅を調整してご使用ください。

● 散布距離と飛行速度から吐出量を調整する場合

① 吐出量を定める

1分当たり、何gの薬剤を吐出させるかを以下の手順で求めます。

$$\text{吐出量 (g/分)} = \frac{\text{処理量 (g)}}{\text{散布距離 (m)}} \times \text{飛行速度 (m/分)}^{\#}$$

#10、15、20km/時=167、250、333m/分

例) 40a圃場(40×100m)を15km/時で散布する場合

- 1往復・・・吐出量=1,600g÷160m×250m/分=2,500g/分
- 1.5往復・・・吐出量=1,600g÷240m×250m/分=1,666g/分
- 2往復・・・吐出量=1,600g÷320m×250m/分=1,250g/分
- 2.5往復・・・吐出量=1,600g÷400m×250m/分=1,000g/分
- 3往復・・・吐出量=1,600g÷480m×250m/分=833g/分

② シャッター開度を調整する

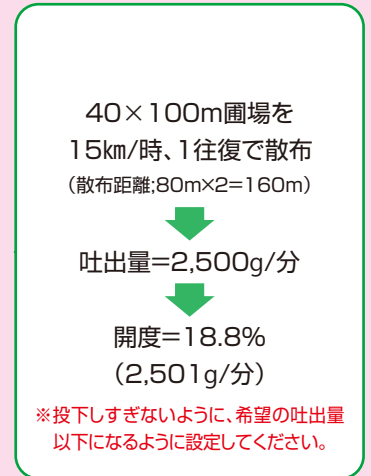
①で決めた吐出量に合わせたシャッター開度に調整します。各散布装置の吐出量目安表を参考に調整してください。なお、往復回数は少ない方が効率的ですが、各散布装置には吐出量の上限があるので、吐出目安表に希望する吐出量がなければ、往復回数を増やすことで吐出量を減らして開度を決めてください。

吐出量目安表と散布例 ※「目安表」ですので、必ず試し撒きを行った上で、調整してください。

機 体 ; ■ AGRAS T10, T25, T30
 散布装置 ; ■ GS110(T), GS440(T) (DJI)

最大積載量 ● GS110(T) : 1.2ha分

開度	吐出量g/分	面積換算a/分	開度	吐出量g/分	面積換算a/分
17.5%	2,167	54.2	23.0%	3,632	90.8
18.0%	2,295	57.4	23.5%	3,771	94.3
18.5%	2,423	60.6	24.0%	3,912	97.8
19.0%	2,553	63.8	24.5%	4,055	101.4
19.5%	2,684	67.1	25.0%	4,198	104.9
20.0%	2,816	70.4	25.5%	4,342	108.6
20.5%	2,949	73.7	26.0%	4,488	112.2
21.0%	3,083	77.1	26.5%	4,634	115.9
21.5%	3,219	80.5	27.0%	4,782	119.6
22.0%	3,355	83.9	27.5%	4,931	123.3
22.5%	3,493	87.3	28.0%	5,081	127.0



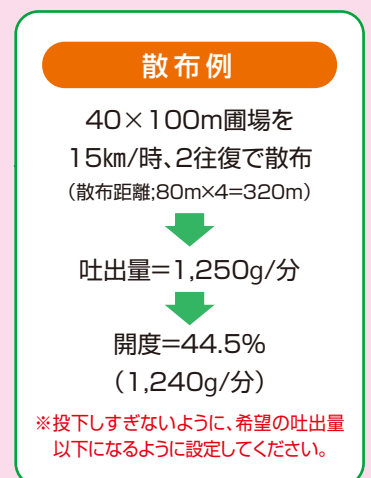
※インペラ回転数を600rpmに設定した場合

機 体 ; ■ MG-1, MG-1K, T20, T20K
 散布装置 ; ■ GS110, GS220 (DJI)
 ■ GS110K, GS220K (クボタ)

最大積載量 ● GS110 : 1.2ha分

最大積載量 ● GS110K : 1.2ha分

開度	吐出量g/分	面積換算a/分	開度	吐出量g/分	面積換算a/分
24.0%	484	12.1	35.0%	877	21.9
25.0%	519	13.0	36.0%	914	22.8
26.0%	553	13.8	37.0%	951	23.8
27.0%	588	14.7	38.0%	989	24.7
28.0%	624	15.6	39.0%	1,027	25.7
29.0%	659	16.5	40.0%	1,065	26.6
30.0%	695	17.4	41.0%	1,103	27.6
31.0%	731	18.3	42.0%	1,142	28.5
32.0%	767	19.2	43.0%	1,181	29.5
33.0%	803	20.1	44.0%	1,220	30.5
34.0%	840	21.0	45.0%	1,259	31.5



※インペラ回転数を600rpmに設定した場合

※45%を超えると吐出量は頭打ちになりますので、45%迄での使用をお願いします。

(P3の手順で吐出量を決め、それに合うシャッター開度を定めるのにご使用ください。)

機 体 ; ■ AC101connect, AC102(NTTイードローン)

散布装置 ; ■ AC101 P13(NTTイードローン) 最大積載量 ● AC101 : 1.4ha分

開度	吐出量g/分	面積換算a/分
30%	1,096	27.4
35%	1,204	30.1
40%	1,318	33.0
45%	1,443	36.1
50%	1,574	39.4
55%	1,714	42.9

開度	吐出量g/分	面積換算a/分
60%	1,906	47.7
65%	2,063	51.6
70%	2,277	56.9
75%	2,451	61.3
80%	2,634	65.9
85%	2,824	70.6

散布例

40×100m圃場を
15km/時、1往復で散布
(散布距離:80m×2=160m)

↓

吐出量=2,500g/分

↓

開度=76%
(2,488g/分)

※投下しすぎないように、希望の吐出量
以下になるように設定してください。

※インペラ回転数を「遅」に設定した場合

機 体 ; ■ YMR-08, YMR-II

散布装置 ; ■ GR1-10 (ヤマハ)

最大積載量 1ha分

丸形ローラー：標準

ボリューム	吐出量g/分	面積換算a/分
25	378	9.4
30	413	10.3
35	448	11.2
40	481	12.0
45	513	12.8
50	543	13.6
55	572	14.3
60	600	15.0
65	626	15.7
70	652	16.3
75	675	16.9
80	698	17.4
85	719	18.0
90	739	18.5
95	757	18.9
100	774	19.4

ひし形ローラー：オプション

ボリューム	吐出量g/分	面積換算a/分
25	771	19.3
30	846	21.2
35	919	23.0
40	989	24.7
45	1,056	26.4
50	1,121	28.0
55	1,184	29.6
60	1,244	31.1
65	1,301	32.5
70	1,356	33.9
75	1,408	35.2
80	1,458	36.4
85	1,491	37.3
90	1,521	38.0
95	1,548	38.7
100	1,573	39.3

散布例

■ 丸形ローラー：標準

40×100m圃場を
15km/時、3往復+33mで散布
(散布距離:80m×6+36m=516m)

↓

吐出量=775g/分

↓

ボリューム=100
(774g/分)

■ ひし形ローラー：オプション

40×100m圃場を
15km/時、2往復で散布
(散布距離:80m×4=320m)

↓

吐出量=1,250g/分

↓

ボリューム=60
(1,244g/分)

※投下しすぎないように、希望の吐出量
以下になるように設定してください。

※インペラを装着していない状態で測定した場合

エアー粒剤 散布事例

ドローン散布には、「エアー粒剤」がおすすめ!
その省力性は、オペレーター様からも認められています。

2019年 鹿児島県農業開発総合センター大隅支場 鹿児島県伊佐市
 耕種概要：6/17 移植
 6/19 マーシェットジャンボ処理
 7/11 アルテア中後期エアー粒剤、1キロ粒剤処理
 8/1 調査
 圃場規模：エアー粒剤…28a(29×98m)
 1キロ粒剤…31a(31×98m)
 機種：MG-1K
 設定/作業時間：右表
 処理時雑草：発生なし
 効果：両剤ともに雑草なし

	エアー粒剤	1キロ粒剤
飛行高度(m)	2	2
飛行速度(km/時)	10	15
シャッター開度(%)	35	20
インペラ回転数(rpm)	600	1,200
モード	M	M+
散布方法(往復回数)	1	3
作業時間*(分/圃場)	2.89	5.51
作業時間*(分/ha)	10.3	17.8
作業人数(人)	2	2

※薬剤投入などの準備作業含む

オペレーター様のご感想

1キロ粒剤と比べて往復回数が少なく、
散布幅を気にする必要もないので
作業が楽だった。

流星エアー粒剤は
自己拡散するので、
ラフに撒いても大丈夫!



粒が水面を浮遊し拡散します。

流星エアー粒剤の適用雑草と使用方法

作物名	適用雑草名	使用時期	使用量	使用方法	総使用回数 [#]
移植水稻	一年生雑草 及び 多年生広葉雑草	移植後3日～ノビエ3葉期 ただし、 移植後30日まで	400g/10a	湛水散布 又は 無人航空機 による散布	本剤…………… 1回 フェンキントリオン剤… 2回以内 ペントキサゾン剤… 2回以内 メタゾスルフロン剤… 2回以内
直播水稻	一年生雑草 及び マツバイ ホタルイ ウリカワ ミズガヤツリ ヒルムシロ セリ	稲1葉期～ノビエ3葉期 ただし、 収穫90日前まで			

#本剤及びそれぞれの有効成分を含む農薬の総使用回数の制限を示す。

●使用前にはラベルをよく読んでください。 ●ラベルの記載以外には使用しないでください。 ●本剤は小児の手の届く所には置かないでください。

本資料は2025年3月現在の登録内容に基づいています。



日産化学株式会社

東京都中央区日本橋二丁目5番1号
 ホームページ <https://www.nissan-agro.net/>
 お客様窓口 TEL.03-4463-8271 (9:00~17:30 土日祝日除く)

RYU-APR3A